

令和3年度 宮崎県立日南くろしお支援学校 学校関係者評価

4段階評価 「4…期待以上である」「3…ほぼ期待どおりである」「2…やや期待を下回る」「1…改善を要する」

評価項目	評価指標	学校の自己評価コメント	自己評価	R3保護者評価	学校関係者評価	学校関係者評価コメント
小・中・高一貫した教育	①根拠に基づいた小・中・高一貫した教育課程の充実を図っている。	○ 系統的・段階的な年間指導計画の作成及び評価基準を設定したことで、小・中・高一貫した教育課程の充実が図られてきた。個別の教育支援計画と個別の指導計画の改善及び充実を図り、教育効果を高めていきたい。	3.0	3.6	3.4	○新型コロナウイルスの影響もあり、学校の様子を直接見る機会が少なく、大変残念に思います。コロナ禍にあっても、子どもへの支援がこれまでと変わることなく続けられることを期待します。
	②発達段階に応じた小・中・高一貫したキャリア教育を推進している。	○ コロナ禍ではあったが、様々な活動の制限に対して工夫や対策を十分行うことで、外部人材の活用や校外活動等を実施することができた。今後は、小学部からのキャリア教育と進路指導の充実が図られていきたい。	2.9	3.3	3.2	
	③「職業コース」の実現に向けた研究（令和3年度から令和5年度）を推進している。	○ 就労促進のために職業教育の充実が図ることが求められており、今年度は先進校視察等を通して、教育課程の見直しを行うことができた。今後は、企業等との連携を深め、作業学習の改善に努めていきたい。	2.4	3.3	3.4	
	④主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動を推進している。	○ 児童生徒が、学習活動に見通しをもち、振り返る場面を学習過程に設定した授業を行うことができた。今後は、児童生徒が自ら考える場面の設定や学んだ考え方を生活に生かせるように授業改善を図りたい。	2.8	3.3	3.4	
多様な学習性に応じた	①一人一人の目標達成に向けた「授業力」の向上に努めている。	○ 児童生徒や保護者のニーズを生かした指導に努め、指導と評価の一体化を実施してきた。今後も児童生徒一人一人の目標達成に向けて、実践的指導力である授業力の向上に一層努めたい。	2.9	3.4	3.6	○コロナ禍においても、安心・安全、健康管理、学習支援と多岐の業務内容にわたり、御苦労されていると思います。これからも子ども達が明るい学校生活を送れるよう願います。 ○風田くろしお販売祭を見学した際、皆さんが元気に活動されており感心しました。
	②「くろしおの学び」の実現に向けた校内研究及び職員研修の充実を図っている。	○ 新学習指導要領を踏まえ、校内研究や職員研修の充実が図られ、年間指導計画の改定を行った。今後は、新たな年間指導計画に沿って授業するに当たり、授業改善に向けた職員研修の充実を図りたい。	3.0	3.2	3.0	
	③自立活動の充実を図っている。	○ 児童生徒一人一人の実態を把握し障がいの特性等を踏まえて、生活や学習上の課題に即した指導の充実を図っている。今後は、豊かな社会生活を送るために、教師の専門的指導力の向上を一層進めていきたい。	2.7	3.4	3.2	
	④ICT機器を活用した情報教育を推進している。	○ ICT機器及び通信環境の整備が進み、授業でのタブレット活用を進めている。今後は、児童生徒の情報活用能力の向上に向けて、全教師がICT機器を活用した指導力を身に付けられる研修の充実を図ってきたい。	2.9	3.2	3.6	
学安校心生活安全な	①様々な危機に対応できる危機管理体制の充実を図っている。	○ 危機管理マニュアルを整備し、学校の実情に応じた改善を図っている。また、新型コロナウイルス感染症への対応では、国や県の動向を注視しながら対策を講じてきた。今後も安全を第一に万全の対策に努めていきたい。	2.9	3.3	3.4	○日南陽祭を観覧した際、生徒の皆さんが一人一人輝いており感激しました。
	②計画的な防災・避難訓練、防災教育の強化を図っている。	○ 計画的に避難訓練・防災教育を実施し、学校全体の防災意識の高揚に努めている。今後は、地域やPTAと連携しながら、より現実的な対応ができるような避難訓練や防災教育の強化を更に進めていきたい。	3.1	3.3	3.2	
	③安心して学べる学校環境の改善を図っている。	○ P T A組織に防災安全部を設置し、非常食の共同購入を実施した。また、狭い範囲ながらもバリアフリー化の工事を行い、学校環境の改善を図っている。今後も安全で安心な学校環境に向けて改善を図ってきたい。	2.8	3.3	3.2	
なごる学校と	①保護者・地域・医療・福祉・労働等の関係機関と連携した教育活動を推進している。	○ 感染対策を行った上でオープンスクールや風田神社神楽の練習等に取り組むことができた。今後も、活動内容の工夫・改善を行いながら、地域とのつながりを意識した教育活動を展開してきたい。	2.9	3.3	3.2	○就労支援・進路支援も積極的に取り組んでおられ、その結果も出ていると思います。今後も、日常の関係先訪問と校内での支援を継続していただきたい。
	②交流及び共同学習の充実を図っている。	○ 学校間交流はオンライン交流を行うなど活動内容を工夫し、居住地校交流は十分な事前打合せをして、感染対策を行った上で実施することができた。今後も交流及び共同学習の充実を図ってきたい。	3.2	3.4	3.6	
	③南那珂地区におけるセンター的機能の強化を図っている。	○ 各校からの要請に応じて、子ども支援部のコーディネーターを中心に訪問を行い、相談対応を実施してきた。今後も地域の児童生徒への支援を充実させ、センターとしての役割を果たしてきたい。	2.9	3.2	3.4	